

スポーツ実技(テニス)		実習	教授 大森 肇	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの専門選択科目, スポーツトレーナーコースの専門選択科目 柔道整復師コースの教養選択科目 救命救急士コースの教養選択科目 教職科目	科目ナンバリング	11322107 11531105 12220109 12531105 13220113 13531105	

### 1. 授業のねらい・概要

テニスは子供から大人まで生涯にわたり行えるスポーツである。そのテニスをスポーツとして楽しむことが出来るように基礎技術を習得し、さらに基礎技術を活かした実践技術を身に付ける。

また、テニスという種目の持つ特性や楽しさを、ゲームを通して体感し、生涯スポーツとして楽しんでプレーする為の知識、技能、態度を学ぶ。

### 2. 授業の進め方

基礎的な技術の反復練習に始まり、応用練習・ゲームへと発展させながらルール・審判法を身に付ける。雨天時はルール説明、ビデオで理解を深める。

### 3. 授業計画

1. ガイダンス・基礎技術 基本知識の習得	9. 基礎技術を活かした実践練習 シングルス
2. ラケットワークとボディーコントロール	10. 基礎技術を活かした実践練習 ダブルス
3. 基礎技術 フットワークとストローク (1) フラット	11. ゲーム (試合の進め方, ルールの理解)
4. 基礎技術 フットワークとストローク (2) スライス・スピン	12. ゲーム (シングルス・ダブルス)
5. 基礎技術 フットワークとボレー	13. ゲーム (戦術)
6. 基礎技術 サーブ・リターン	14. ゲーム (紅白戦, 班別対抗戦) シングルス
7. 基礎技術 スマッシュとロブ	15. ゲーム (紅白戦, 班別対抗戦) ダブルス
8. 基礎技術を活かしたラリー練習・展開	

### 4. 準備学修に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

メディア等を通し、テニス競技に必要なイメージをつかんでおくこと。この準備学修には1~2時間程度が必要である。

### 5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

実技試験の際、採点基準などを説明する。

### 6. 授業における学修の到達目標

テニスのルール・マナーを理解し、各ショットのスキルを身につけ、テニスの試合を楽しんで行うことを目標とする。

### 7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み(意欲・態度)(30%)、知識の理解度(30%)、技術の習熟度(40%)を総合的に評価する。

### 8. テキスト・参考文献

別途指示する。

### 9. 受講上の留意事項

運動に適した服装と、テニスシューズかそれに準ずる靴を用意すること。

実技を行うため、人数が多い場合は調整する。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

### 11. 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。